

別紙3（第7条関係）

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度第2回宮古市市民自治推進委員会を、次のとおり開催しました。

令和5年7月10日

宮古市市民自治推進委員会

- 1 開催日時  
令和5年6月22日（木）13時30分～16時50分
- 2 開催場所  
宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」2階多目的ホール
- 3 会議の概要  
(1) 令和4年度実施分提案事業の評価について  
(2) 提案事業募集要領について
- 4 問い合わせ先  
宮古市市民自治推進委員会事務局 宮古市 企画部 企画課  
電話 0193-68-9064

## 令和5年度第2回宮古市市民自治推進委員会【会議録】

- 1 日 時 令和5年6月22日(木) 13時30分～16時50分
- 2 場 所 宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」2階多目的ホール
- 3 委 員 (1) 出席者：9名(委員15名中半数以上出席につき、会議成立)  
① 昇高茂樹(委員長) ② 戸由忍(副委員長) ③ 三浦博勝  
④ 八島彩香(リモート参加) ⑤ 長洞慶幸 ⑥ 山口寿恵  
⑦ 小林智恵子 ⑧ 門坂知実 ⑨ 小野寺美賀子  
(2) 欠席者：6名  
① 香木みき子 ② 祝田誠 ③ 本多政彦 ④ 澤田亮 ⑤ 志賀政信  
⑥ 佐々木聡子
- 4 事務局 7名  
(1) 企画部  
① 企画部長 多田康 ② 企画課長 箱石剛  
③ 同課企画調整係 主任 田中与土  
(2) 市民生活部  
① 市民生活部長 若江清隆 ② 生活課長 川原栄司  
③ 同課 男女参画・協働推進係長 小向和美  
④ 同係 主査 名取綾子

### 5 団 体

No	事業名	事業実施主体名
①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会
②	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」の年間事業	みずき会
③	昭和思い出探し ～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい
④	めざせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会
⑤	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人 ふれあいステーション・あい
⑥	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体
⑦	こどものまち「みやっこタウン」を軸とした小学生のキャリア教育活動事業	NPO 法人みやっこベース

- 6 事業  
担当課
- (1) 宮古歯科医師会  
保健福祉部 健康課 新里保健センター 所長 沢田祐里子  
主任保健師 永田絵里花
  - (2) みずき会  
産業振興部 産業支援センター 商業労政係 主事 木村孝輝  
主事 加藤理子
  - (3) 昭和通りのおかみさんもてなしたい  
産業振興部 観光課 もてなし観光係 主任 植田収一
  - (4) 宮古市食生活改善推進員協議会  
保健福祉部 健康課 成人保健係 主査 加藤富久子  
母子保険係 管理栄養士 中田美咲
  - (5) 特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい  
保健福祉部 こども課 子育て支援係 係長 若江奈津子  
主事 福土成佳
  - (6) 社会的自立支援共同事業体  
保健福祉部 福祉課 地域福祉係 主任 佐々木理紗
  - (7) NPO 法人みやっこベース  
教育委員会 学校教育課 学習指導係 指導主事 富山一真
- 7 傍聴者 0名
- 8 議事等
- 生活課長が会議の成立要件に基づき委員会の開会を宣言。市民生活部長、委員長の挨拶後、委員長が議長となり、会議を進行。
- (1) 令和4年度実施分提案事業の評価について
  - (2) 提案事業募集要領について
- 9 挨拶
- (1) 市民生活部長
  - (2) 委員長

10 議事(概要)

- (1) 令和4年度実施分提案事業の評価について  
(事務局説明：生活課 男女参画・協働推進係)

資料1-1～1-4に基づき、評価方法について生活課から説明。

その後、提案事業実施団体及び担当部署から事業報告のプレゼンテーションを行い審査。各委員から質疑応答を受け評価を実施した。

※プレゼンテーション内容は省略。次のとおり意見・質疑を受けた。

■ 8020 運動推進事業「みんなの歯を磨き隊」【宮古歯科医師会】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>令和3年度の報告の際に、コロナでアンケートができなかった、という報告があったと記憶している。2年ぶりのアンケートの実施で、コロナ前と大きく変化したことがあれば教えてほしい。</p> <p>保護者の新型コロナウイルス感染症の感染に対する警戒心が強いので、特に感染予防に注意し進めるべきと考えています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>2歳から3歳で虫歯の患者数がいきなり増えるということについて、理由は何か。また、全国平均より、宮古市の虫歯の患者数が多い要因は何か。</p> <p>2歳から3歳で増えるのは、3歳になれば自分でおやつを選んで食べられること、祖父母が与えてしまうこと、また、歯の数が増え、磨き残しが増えることなどが挙げられます。また、平均が全国より高いことは、今の理由もありますが、両親が共働きだと子供の口腔内のケアまで気が回らないことが多く、大きくなれば自分でケアするようにさせる、自我の芽生えなどもあり、保護者が管理できなくなる。というのも理由の一つとして挙げられます。</p> <p>宮古市は他と比べ活動を各種行っていますがこの値。予防処置など行い、これからも努力しなければなりません。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古歯科医師会</p>	<p>フッ化物洗口が、予算額6万円に対し決算額が0円となっている。実施しているかと思うが、支出状況について伺いたい。</p> <p>実施していることから支出内容について確認します。</p> <p>※令和3年度からの在庫を使用したため経費がかからず、決算額は0円で正しいことを後日、団体から確認。</p>

■ コミュニティガーデン「花かおる散策路」の年間事業【みずき会】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：みずき会</p>	<p>東京や平泉の方とはどのように接点を持ったのか。</p> <p>東京の「花プロジェクト」は（公財）東京都道路整備保全公社から、宮古市建設課に依頼があり、建設課から請け負いました。2020年のオリンピックに向けて5年前から被災地である東北地方の沿岸各地で何箇所かで、花を育て、都庁通りに植える活動が続きました。実際のオリンピックの際は、福島県の東球場にみずき会の花が植えられています。</p> <p>平泉のかおりプロジェクトは、2年前、岩手産の「キク科」の花で香料をつくりたいということで団体が探しており、観光協会を通じてみずき会にコンタクトがありました。みずき会ではハマギクが市の花であることを市民の皆さんに知ってほしく協力する旨伝えましたが、依頼のあった年はすでに花期が終わっていたので、翌年となる昨年から、ハマギクを刈り取り、乾燥させ、平泉に届けました。昨年からはじめた事業なので、どのような形に商品化されるかは今後平泉の方とやり取りをしていますが、みずき会は材料の提供を担っていきます。</p>

■ 昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～  
【昭和通りのおかみさんもてなしたい】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：昭和通りのおかみさんもてなしたい</p>	<p>地域活性化の他に観光客の集客を目的としているということだが、実際このイベントへの観光客の集客はどれくらいあるのか。</p> <p>コロナ終息前でしたので、たくさんの方が来たとは報告できませんが、少し緩んできていると感じています。</p> <p>なお、7月の七夕の際に、観光客の方から良い評価をいただくと共に、中学生の活動を見て涙を流された方がいたことがとても印象に残っています。</p>

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	イルミネーションを毎年購入されているが、再利用などもしているのか。
A：昭和通りのおかみさんもてなしたい	<p>設置場所やスケール感が毎年増しているので、毎年購入をしています。また、再利用もしていますが、恒久的に使えるものではないので、廃棄するものもあります。</p> <p>また、末広町が工事のため歩きにくいので、川沿いの道をサブストリートにしており、そこにイルミネーションを設置し、夜も安心して歩けるような取り組みもしています。安心して楽しめる街であることが末広町、また、商店街の一番の役目だと考えています。</p>

■ めざせ！元気なみやこっ子食育教室【宮古市食生活改善推進員協議会】

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	8校のうち5校が計画とおり実施とあるが、残り3校はどういった事情でできなかったのか。また、調理実習しない学校で行ったデモンストレーションの具体的な内容について伺いたい。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生したため実施できませんでした。また、デモンストレーションは、実際に食生活改善推進員の皆さんが調理するのを見せました。
Q：委員	新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、実施できない学校もあったと思うが、その中でもこのように実施できている。スケジュールもタイトな中、どのように学校側や保護者の皆さんからの理解が得られるような特別な働きかけなどがあったのか。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	独自に実施の2週間前から健康管理として検温等を実施することや、コロナ禍の3年間で安全のためのルールを作り進めてきました。そういった取り組みを通じ、学校でも食育の大切さに理解をいただいております。

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古市食生活改善推進員協議会</p>	<p>食育教室を広報などで周知し、参加者を今度は食生活改善推進員として増やしていく、という方法もあるかと思うが、この「保護者や地域の方々を対象とした食育教室」の周知はどうしているか。</p> <p>各地区の子供会を通して進めています。参考にさせていただきます。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：宮古市食生活改善推進員協議会</p>	<p>コロナ前はどのくらいの実施校数か。</p> <p>田老・新里・川井は各地区1校の小学校で毎年度実施していました。旧宮古市内の小学校は隔年で実施しています。</p>

■ 家庭訪問型子育て支援事業【特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>利用者数について昨年度の実績2件は異例だと思うが、どのように推移してきているのか。</p> <p>事業開始年度から数年後には、目標件数10件とし、大体目標件数前後で推移しています。しかし、開始年度から令和4年度までの間で宮古市の出生数が半減しており、対象が半減しているという現状があります。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>訪問ボランティア7名の養成ができたということについて、コロナ禍の中で事業を利用したいができなかった方もいると思う。アプローチはどのように行ったか。</p> <p>訪問ボランティアは、資質が重要。ふれあいステーション・あい宮古市から受託している「ファミリーサポートセンター」というお子さんの一時預かり事業で、お子さんを預かる会員として活動している方の中で適任だと思われる方を推挙し、ある程度の人数が集まったタイミングで養成講座を実施しました。</p>

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に関し、まだ不安が残る中で、このように前向きにボランティアが増えるのは良い。出生率の低下などにより子育てをしている人に対しての一般市民の関心が遠ざかるような中でこのような事業は大切だと思う。</p> <p>コロナ禍以前は、スーパーなどで子育て中の方に声をかけたりすることもできたが、今は気遣いが必要となります。SNSなどの普及により人との直接の関りが無い世代が増える中、また、コロナ禍のために人と関わらずに子育てをしてきた方がこの3年間で増えています。人と関わって子育てをすること、地域で子育てするという経験をしてもらいたいと考えています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>宮古市内には子育て関連施設が多くあるが、施設利用者に対する事業周知はどのようになっているか。また、土日は子育て関連施設は運営していないと思うが、その間の事業の利用実態はどのようになっているか。</p> <p>「つどいの広場」(市内数カ所)、ドラッグストアなどにチラシを配架していただいています。また、子育て関連施設には担当者に適宜事業説明をしており、施設の担当者からの照会で利用につながるケースや保健センターの乳児健診でも、支援が必要そうな方には繋いでもらっています。また、利用実態は、土日の利用も可能となりますが、配偶者が休日のことも多く、平日の利用が多くなっています。</p>

■ 社会的孤立を支援する事業【社会的自立支援共同事業体】

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p>	<p>対象者 26 人のうち、参加人数は3～4分の1。メンバーは固定化しているのか。それとも、その都度違う方が参加しているのか。</p>

発言者	内容及び発言要旨
A：社会的自立支援共同事業体	基本的に自由参加。各体験とも顔ぶれは固定化しています。参加したい体験が決まっている状況です。
Q：委員  A：社会的自立支援共同事業体	<p>「中卒及び高校中退者を中心にした孤立」とあるが、これは今非常に多いのか。</p> <p>いわゆる潜在的な引きこもりの方が多く、その人たちにアプローチするのは大変困難です。そこで、新しい引きこもりをできるだけ増やさないことが現実的な対応だと考えています。中学校卒業後、就職または進学をしてない人達が、どこともつながっていないような状態にならないよう支援したい、そういう関係性をつくりたいということが基本になります。</p> <p>引きこもりの支援の中で重要なのはその2通りあり、一つは潜在的な引きこもりの人達の掘り起こし。二つ目は新しい人達の引きこもり。若年層の人でこれからずっと引きこもる可能性のある人たちが、引きこもりに移行しないように、何とか関係性を築く、という支援をしていきたいと考えています。</p>

■ こどものまち「みやっこタウン」を軸とした小学生のキャリア教育活動事業  
【NPO 法人みやっこベース】

※八島委員は団体に所属していることから、評価から外れる。

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員  A：NPO 法人みやっこベース	<p>支出科目「企業協力金」について、予算額 15 万円が決算額 0 円となっている。27 企業の協力があったようだが、協力金の支出はなかったのか。</p> <p>協力金は当初、各企業出店の材料代として計上しましたが、ボランティアでお受けいただけることになり、決算額が 0 円となりました。</p>

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	以前はシーアリーナで開催した事業かと思うが、以前から変わった手ごたえのようなものはあるか。
A：NPO 法人みやっこベース	<p>シーアリーナや、市民文化会館を会場として実施してきました。令和4年度は岩手県立大学宮古短期大学部を使用し、収容人数は若干減少しましたが、コロナ禍や、前回開催から3年の間があったこともあり、場所的にも人数のキャパシティー的にも適切であったと感じています。一方で、教室の広さという点で制限があったので、今後の実施に向け調整が必要と考えています。</p> <p>なお、令和5年度事業は旧赤前小学校を会場予定とし、準備を進めています。</p>

■ 公園協働事業【宮古市 建設部 都市計画課 管理計画係】

※生活課から報告（委員による評価なし）

■ 各委員からの振り返りなどについて

評価結果集計中に、本日の振り返り及び意見などについて、委員長から各委員へ伺う。以下、発言内容。

発言者	内容及び発言要旨
委員	<p>昨年度の報告と変わり、中身を検討してきたことを感じた。質疑時間の制限もあったのでその辺まで話ができなかった。評価の会議でいつも思うのは、次回に創意工夫をつなげる姿勢を実施団体が意識してくれることが大切ということ。</p> <p>よくマンネリ化と言うが、やり方そのものがそうだとは思っていない。それぞれの団体にも委員会として、その旨を伝える機会があればいいと思う。</p>
委員	<p>所属している団体で、このような地域課題に対するアプローチについて取り組んでいるが、違う目線での活動を目にする事ができた。その中で共通しているところは、情報発信が難しいというところ。長い期間の事業をされているので、その時代に合った情報発信方法を取り</p>

発言者	内容及び発言要旨
	<p>入れ、多くの人を巻き込める事業にできればいい。今回の質疑応答を通して団体の思いをお見受けしたので、いい事業になっていくと思った。</p>
委員	<p>どの団体もうまく協働し、事業として成り立っている。今後も期待して見守りたい。</p>
委員	<p>ほとんどが継続事業で去年の活動は以前に比べれば、あまり活発でないようだが、今後はコロナ対策も緩和されていく。これからはもっと活発になると思った。</p>
委員	<p>自治推進委員を何期かやっており、今までの事業経過から少し厳しいことを言うと、コロナ禍でできない事業もあるが、「どうやったらできるのか」ということを自分たちがどう考えているかが今回見えた。継続事業がマンネリ化し、もう少しこうしたい、という頑張りは見えた。その中で、自分たちの「これをやる」という思いの強い団体がわかり、コロナ禍によって自分たちの活動を見つめ直す機会にもなったと思う。</p>
委員	<p>この市民自治推進委員会に参加するまで、このように各種事業があることを知らなかった。市としても、もっと市民の方に、事業のPRをしてほしい。</p>
委員	<p>自分もこのような事業を知らないまま委員となった。市民全体とすれば、私のように知らない人もいるのかもしれない。せっかく団体が頑張っているのもっと知ってもらい、もっと協力してもらうことができればよいと思った。田老地域でも頑張っている人たちがいるので、もっと知ってもらいたい。</p>
委員	<p>育児のためリモートでの参加となった。      今回も昨年度と同じような内容で、「マンネリ化」していることについては同感。同じことの繰り返しではなく新しい工夫が出てくれば良い。      個人的には、委員としては、母となったという視点も加わり、より関心をもって評価をできたと思う。</p>

発言者	内容及び発言要旨
委員	自分にとっては新鮮だったが、年々委員を歴任している方から「マンネリ」という言葉もあり、事業の継続年数を見れば、そう思われてもやむを得ない部分もあると感じる。

## ■ 評価結果

評価結果について、以下の評価結果表のとおり生活課から報告。協議結果は、事務局でまとめ、市長に報告する。

### 【令和4年度実施分提案事業の評価結果】

No	事業名	事業実施主体名	平均点	30点未満人数
①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会	41.9	0
②	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」の年間事業	みずき会	41.8	0
③	昭和思い出探し ～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい	37.6	0
④	めざせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会	41.6	0
⑤	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人 ふれあいステーション・あい	43.4	0
⑥	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体	39.0	1
⑦	こどものまち「みやっこタウン」 を軸とした小学生のキャリア教育活動事業	NPO 法人みやっこベース	41.0	0

※継続年数5年を経過した①から⑥の事業は、次回実施する来年度（令和6年度）事業のプレゼンテーションを実施。

※⑦の新規事業は、事業の平均点が30点以上であることから、次回実施する来年度（令和6年度）事業の審査及び、来年実施する今年度（令和5年度）事業の評価におけるプレゼンテーションを省略。

(2) 提案事業募集要領について

(事務局説明：生活課 男女参画・協働推進係)

資料2-1～2-2について、生活課から説明。

次のとおり意見・質疑を受けた。

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	講演会については、宮古市市民自治推進委員及び提案事業の実施団体にも案内して、協働を作り上げていければよい。
A：事務局（生活課）	ご案内するようにいたします。
Q：委員	講演会は市職員も対象としている。協働の事業としてできることがあれば、一考することを啓発したい。そこで、本日の担当部署の説明がわかりやすく洗練されていると感じた。市でも真剣に協働をしている姿勢が見えた。その観点から、本日の担当の説明内容をペーパーで職員や私たち委員、団体にも提供してもらえると、次への参考にすることができるかと思う。 本日の配布資料の中の「事業評価シート」というのがあるが、このような形だと伝わりづらいので、本日の担当の話を見せることについて検討してほしい。
A：事務局（生活課）	検討させていただきます。

11 その他

次回の宮古市市民自治推進委員会開催スケジュールについて、改めて確認を行う。

■ 令和5年度第3回宮古市市民自治推進委員会

(1) 日時 令和5年10月6日(木) 13時30分～

(2) 会場 宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」  
2階多目的ホール

(3) 内容 令和6年度実施提案事業の審査について

12 閉会